

# 三木町地域おこし協力隊活動報告

2022.7～2023.6

芳田 裕美

# 0.目次

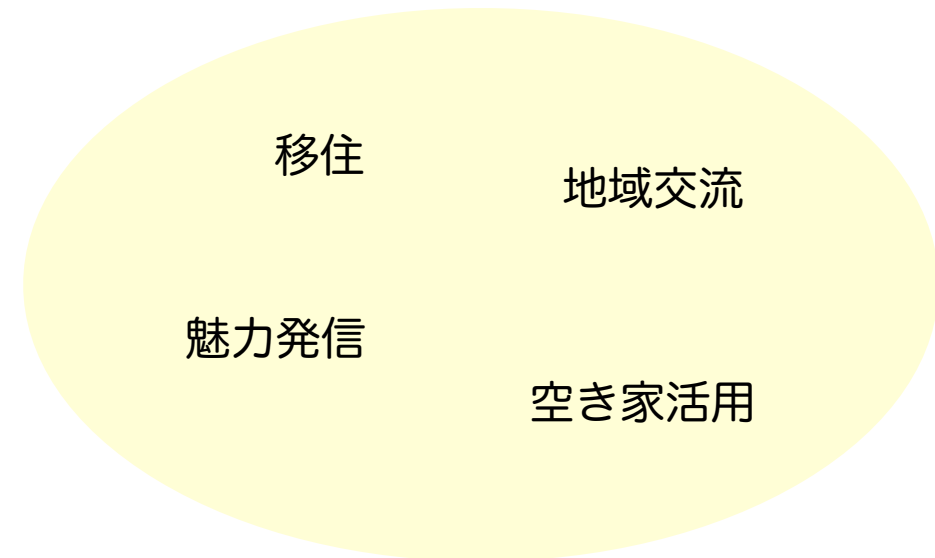
---

- 1.活動について
- 2.魅力発信
- 3.にぎわい作り
- 4.移住相談
- 5.これから

# 1.活動について

## 1年目のテーマ

「地域を知る」  
「同じ時間を共有し信頼関係を築く」  
「つながりづくり」



## 1年目の主な活動

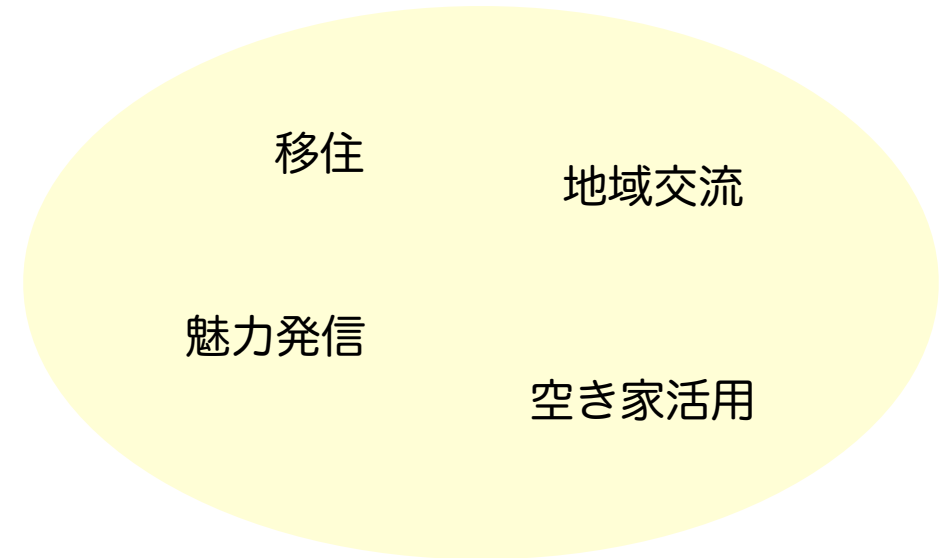
- ①地域を知る—魅力発信（Instagram、ラジオ出演など）
- ②地域とのつながり（稲刈り初体験、農村体験研修、DIYセミナー参加など）
- ③つながり作り（クリスマスイベント作り、インスタライブなど）
- ④移住相談—ネットワーク作り（移住ガイドブック作成、移住者交流会開催、移住相談など）
- ⑤地域交流—賑わい作り（小菘農産物加工場&カフェオープンセレモニー、古代米プロジェクトスタートなど）
- ⑥活動発信（地域情報誌ナイスタウン取材、広報みき「よっしーだより」）

# 1.活動について

---

## 2年目のテーマ

「地域課題×自分にできること」



## 2年目の主な活動

- ①魅力発信、活動発信（Instagram、ふるさと住民会報誌、三木町文化交流プラザ夏休みイベント、広報みき「よっしーだより」など）
- ②にぎわい作り（古代米プロジェクト2022、野菜作り、夏祭り、収穫祭など）
- ③移住相談（移住フェア参加、移住相談、移住者交流会など）

## 2.魅力発信

### 夏休みイベント

三木町文化交流プラザで開催された、夏休みイベントに参加しました。

「三木町のこと」しらべる応援隊ということで、小学生の夏休みの自由研究のお手伝いをする企画です。

「地域おこし協力隊ってどんなことするの?」「三木町のすてきな場所おしえて!」などの質問に答え、こどもたちが町のことを知るきっかけに少しでもなれたらいいなと思いました。保護者の方にも喜んでいただけました。



### ふるさと住民会報誌

会報誌の中に、「地域おこし協力隊よっしーの活動紹介」というページをとってくださっています。三木町を応援してくれている皆さんに、活動を知ってもらうだけでなく、三木町への親しみを深めてもらって、三木町からのお知らせを楽しみにしてもらえようと思っています。



# 3.にぎわい作り

## 古代米プロジェクト

町内で地域を盛り上げるために田んぼアートとして栽培されていた、古代米の一つである緑米を受け継ぎました。  
地域活性の想いを未来に繋ぎたい！  
体にやさしい緑米を作って食べてみたい！  
という思いに、小菘の農家さんが力を貸してくれることになり、こみの古代米プロジェクト2022が始まりました。

古代米プロジェクトでは、古代米を使った地域のにぎわい作りを目的として、栽培、発信、商品化、イベント開催に取り組んでいます。



古代米を使った  
にぎわい作り



Instagramなどで栽培記録、田んぼでの体験や気づきを発信

- ★お米ができるまでを楽しみにしてもらう
- ★取組を応援してもらったり、イベント開催などで地域とのつながりを広げる



## 3.にぎわい作り

### はじめてのお米作り

お米がどうやって作られているのか、全く知らないし考えたこともなかったのですが、何事もやってみないとわからないし、地域ににぎわいをもたらすきっかけになればいいなと思いました。まずは知ること。そして、地域資源を生かし、存続させるために、少しでも地域の力になりたいと考えています。

はじめてのお米作りは感動の連続でしたが、栽培の工程だけでなく、農業の大変さや豊かな自然の尊さ、気候に左右されること、動物の被害など、学ぶことがとても多くありました。

地方に移住を考えている人は、食に関心があったり、農ある暮らしがしたい人も多いので、米作りや野菜作りはわたしにとっても今後活かせる貴重な経験となっています。



### 希少な緑米

栽培している緑米は、古代米のひとつで、もち米です。中でも緑米は、生産量が少なく、幻のお米といわれています。玄米の皮の部分にクロロフィルという緑黄色野菜に含まれている成分が含まれていて、玄米は薄い緑色です。食物繊維やマグネシウムなども多く含まれ、ヘルシーで、不足しがちな栄養を補うことができます。

## 3.にぎわい作り

### 希少な緑米

栽培している緑米は、古代米のひとつで、もち米です。中でも緑米は、生産量が少なく、幻のお米といわれています。

玄米の皮の部分にクロロフィルという緑黄色野菜に含まれている成分が含まれていて、玄米は薄い緑色です。

食物繊維やマグネシウムなども多く含まれ、ヘルシーで、不足しがちな栄養を補うことができます。



### 商品化

収穫した緑米は「こみのロマン」として、玄米のまま、ご飯に混ぜて炊く用にお試し少量パックにしました。

玄米のおもちや、おはぎも好評です。





## 3.にぎわい作り

### イベント「収穫祭」

11月に、古代米プロジェクトが中心となって、「こみの収穫祭～体験マルシェ～」を開催しました。

収穫した緑米をみんなでおもちにしたり、かまどで炊いたり、野菜を収穫したりと、小蓑ならではの体験が盛り沢山のイベントで、秋の小蓑を楽しんでもらうことができました。

地区外からもコンサートで協力してくださり、イベントを通してつながりも広がりました。





## 4.移住相談

### 移住フェア

2022年7月 大阪の移住フェア  
2023年2月 東京の移住セミナー、大阪の移住フェア  
2023年6月 東京の移住フェア  
に参加しました。

自身の経験を伝えることと、相談に応えられるように情報収集にも取り組んでいます。  
まずは三木町を覚えてもらおうと、今年からはイチゴになってPRしています。



### 移住者交流会

香川県が各市町で開催している移住者交流会が2月に三木町で開催されることになり、企画から関わらせていただき、司会進行を担当しました。地域の方や事業者さんのご協力で、いちご狩りや獅子舞を楽しんでもらうことができ、美味しいコーヒーとおやつをいただきながら、いろいろなお話ができました。  
移住したばかりの方の疑問や不安を解消したり、情報交換ができる場はやっぱり必要だと感じました。



## 4.移住相談

### TSUMIKI HOUSE プロジェクト

自身の移住体験だけでなく、移住仲間と話をするなかでも、三木町の「暮らしやすさ」は、大きな魅力であると感じていました。しかし、移住相談などで三木町を知らない方に、その「暮らしやすさ」を伝えるのが難しく、一度来てみてほしいと思っても、きっかけがないと難しいのが課題でした。

そこで、空き家を活用して、三木町の暮らしを体験してもらえる場を作り、移住者ネットワークの拠点にするとともに、空き家の活用事例を作ろうと考えたのが、このプロジェクトです。



空き家



移住者ネットワーク”TSUMIKI”の拠点に！  
三木町の暮らしを気軽に体験できる施設に！  
空き家の活用事例に！

ポイントは、DIYすること。ワークショップイベントを開催し、DIYをしてみたい方や協力者を集めて整備します。他の移住体験施設の視察に行ったり、空き家の調査や片付け、宿泊施設にするための協議、計画を進めています。

## 5.これから

### これからの主な活動と目標

- ①古代米プロジェクト
- ②TSUMIKI HOUSEプロジェクト

古代米は今年、田んぼを倍の面積に増やしました。6月に開催した田植えイベントには、予定を大きくオーバーする36名の参加者が、田植えやもちつき、天ぷら作り体験などで、初夏の里山を楽しんでくれました。「こどもが最初は興味がなかったのに、どんだんのめりこんでくれたのがうれしかった」という保護者の方の声に、農業体験の良さを再認識することができました。

こういったイベントを通して、世代を問わず交流できる機会、自然や農業に触れる機会を作ることが大切だと感じました。稲刈りも楽しみにしてくださっているので、無事に収穫できるように頑張ります。



自身の体験を活かして自分にできること

- ・農業体験の場作り
- ・農家さんのサポート
- ・移住者のサポートや移住希望者の相談

そして、TSUMIKI HOUSEでは、移住者が気軽に集まって情報交換したり、三木町を知らない人も気軽に遊びに来て、三木町の食や文化に触れたり、三木町とつながりを持ってくれる人を増やすきっかけを作っていきます。

貴重なお時間をありがとうございました。3年目もよろしく申し上げます。